

第 20 回 日中学院倉石賞受賞者決定

受賞者：日中文化交流市民サークル「わんりい」

推薦者：花岡真寿美



推薦の言葉 花岡真寿美

日中文化交流市民サークル「わんりい」は平成 4 年 8 月 1 日に設立以来、24 年を超える活動を通して中国の文化を理解し、親しむための講座や鑑賞会、研究会を多数し開催し、月刊誌を発行し続けるなど中国文化の紹介と日中の友好と交流を軸に数々の活動を展開している。全ての活動はボランティア精神に徹して開催されていることにより、日中両国人が共に気持ちよく協力し合いながら活動を続けてきており、長い期間に渡って日中交流の輪を広げ続けて来た「わんりい」の社会的意義は大きい。

特筆すべきは、設立翌年の 1993 年、まだ日本で京劇が一般市民に知られていない時代に、初めて京劇を紹介したことである。京劇鑑賞会を開催し、多くの市民に生の京劇を紹介しただけでなく、その後も長期間にわたって、京劇鑑賞講座を主催し、演技、音楽、衣装と化粧など京劇を深く学ぶ機会を提供してきた。この間、日本公演で来日の多くの京劇役者との交流を続けてきた。

また、主催活動の中には、さまざまな寄付活動も行ってきた。下記 2 件のチャリティ活動では、送金手数料を除く収益金全額を寄付している。

・2000 年 5 月「草原のチェロ、馬頭琴演奏会」

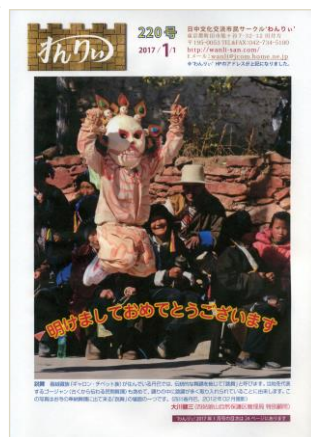
雨漏りが酷く再建を希望する現地の声に応じて、内モンゴルホルチン地区王家套布村小学校再建のためのコンサート

・2008 年 7 月「四川の復興を祈る、中国民族音楽の夕べ」

四川大地震復興支援のチャリティーコンサート

月刊誌「わんりい」は 2016 年 11 月現在で 218 号になる。これまで、論語、中国各都市の紹介、中国に伝わる物語、中国の故事に由来する熟語や慣用句への考察、漢詩、中国各地の料理、主催活動の報告、旅での見聞など、様々な内容に渡って紹介され、愛読者も多い。寄稿者の中には在日の中国人もおり、時には中国本土から原稿が届く事もある。月刊誌「わんりい」は毎月約 350 部発行し、会員及び関係者、催しの際に参加者へ配布するほか、関係各所に適宜な部数を毎月、無料で配布しており、興味のある人が自由にとることが出来る。

現在会員数は 78 名、代表の田井光枝さんを始め主要メンバー 10 名程で運営している。これまでの「わんりい」主催の活動は、新聞、雑誌などに多数紹介されている。



月刊誌「わんりい」